

Volume 1 — Children's Songs



音楽科

授業改善のための

デジタルコンテンツ

【誰にもできるステップアップ教材】

○わらべうた編

Contents

- 発刊にあたって ... 1
- 教材をデジタル化する意味 ... 1
- **Concept** ... 2
- ステップ一覧[わらべうた編/コーラス編] ... 3
- 教材の使い方 ... 4
- カノンを扱うことの意味 ... 4
- **Manual**
 - おちやかほい ... 5
 - だるまん ... 7
 - あめこんこん ... 9
 - 前の門さん ... 11
 - いちもんめのいっすけさん ... 13
- 音楽用語 + 参考文献 ... 15

発刊にあたって

プロジェクト顧問 木立 英行（大阪教育大学理事）

教員は、教育の専門家として教科の指導方法に自信を持たなければなりません、そのためには長い実践経験と深い考察との両方が必要です。ことに、実技を伴う教科の指導力を養うには実践の場に身を置く必要がありますが、その場合は指導者に恵まれる必要があります。研修機会は様々に提供されていますが、忙しい教職にある身では、自分にあつた指導者に会うことすら容易ではありません。

大阪教育大学は、インターネットやDVD等の新しい媒体を活用して教科の指導方法や教材を作成し、学外の方々の利用に供することを始めました。まず、音楽教育講座から、『合唱指導法』を提供させていただきます。

この教材は、公開講座での実地指導、文章による理論的な説明と一体となって、本学の音楽教育講座寺尾 正教授の合唱の指導法を表すものです。

是非とも、本編を現職の先生や関心のある方々に役立てていただくことをお願いするとともに、皆様のご批判や改善への提案、ご要望をいただき、今後予定している続編や本編の改訂に活かすとともに、実践現場にある方々のお考えを踏まえた、より良い教科教育の教育と研究に役立てさせていただきたいと考えております。

教材をデジタル化する意味

プロジェクトスーパーバイザー 田中 龍三（大阪教育大学教授）

このデジタル教材は、本学の「次世代を育てる全領域デジタル教材の展開」プロジェクトの一環として作成された教材です。教材をデジタル化する目的はいろいろありますが、この教材では、音楽活動の基礎的な能力となる知覚・感受の活動がよりよく行われるために、音楽の作られ方と音楽の感じや雰囲気との関係を分かりやすく示すことや、実際に行われる音楽授業の場面を想定し、子どもの授業への集中が保てるよう、学習のねらいに適した箇所を、ストレス無く瞬時に提示することなどをデジタルの特性を生かして実現することを目的としています。

つまり、この教材をもちいることで、コーラスでカノンの課題に取り組む際、メロディーの重ね方や歌い方の変化に伴って、音楽の感じや雰囲気が変わっていくことに気づくことで、自分の気分や気持ちの変化、または高まりを楽しみながら、さまざまなカノンが歌える技能を身に付けることをめざしているのです。

本学音楽教育講座では、今後も地域の先生方と連携をしながら、音楽科授業の改善をめざした、さまざまなデジタル教材の開発を進めていきたいと考えています。今後、新たに開発するデジタル教材が学校現場のニーズに応えられるものとなるためにも、このデジタル教材を実際に授業で使っていただき、忌憚のないご意見をお寄せいただきたいと存じます。

Concept

「音楽の授業をうけもつことになったけれど、何をしたいのかわからない・・・」
 「教科書に載っている合唱曲をやってみたけど、うまくいかない・・・」
 「子どもたちが、楽しく、さらに上手に歌うためにはどんな練習をしたらいいの・・・？」

この音楽科授業改善のためのデジタルコンテンツ【誰にもできるステップアップ教材】は、そのような壁にぶつかったときに、ひとつのアドヴァイスになることを目的とした教材です。音楽の専門教育を受けていなくても、ピアノが上手でなくても、子どもの歌唱の基礎力を高めることができます。さらに、子どもに身近なわらべうたを中心に据えることによって、それに伴った動きや手遊びなどをおして、聴く耳を育て、歌いあう喜びを育む助けとなります。この教材を子どもと共に使う前にぜひ、先生方が実際に歌い、手遊びを体験してみてください。

● わらべうた ————— 小島 律子（大阪教育大学教授）

わらべうたは日本語から生まれたものであり、日本の音楽の源です。しかも、わらべうたでは、音楽がしゃべり言葉と生活でのからだの動きと一体となって存在しています。日本語を母語とする私たちの身体に染み付いた音楽性をもったものといえます。だから、だれでもわらべうたは苦もなく歌えます。実は、わらべうたで子どもたちが遊びに興じて無意識にやっていることを取り出して、音楽の世界へ連れて行くことができるのです。たとえばちょっとずらして歌い始めればカノンになります。そこに、はやしことばを繰り返せば、ふしに伴奏がつくように音楽に厚みがでできます。わらべうたはシンプルな素材だけに、いろいろな料理法が使えます。そんなことをして楽しんでいると、音程もしっかりし、リズムもめりはりをもって、声も出てきます。音楽的な能力が育っていくのです。

ただ忘れてはならないのは、わらべうたは遊びだということです。わらべうたでうんと遊んだことがなければ、単なるうたになってしまいます。わらべうたで遊ぶことでひとのかかわりを経験し、わらべうたを歌うことが楽しくなるのです。

● コーラス ————— プロジェクト代表 寺尾 正（大阪教育大学教授）

うたは人間の心の内にある喜び、悲しみ、怒り、祈り、愛などを声に表し、聴く人に訴えるものです。ましてや、コーラスは多くの人と共にうたい合い、その思いを共有するという集団行為です。うまく演奏できた時のメンバーで分かち合う喜びには格別なものがあります。

しかし、コーラスを練習する多くの場面で、更なる上達を望んでいるにもかかわらずなかなか思うに任せない現実があります。ここで心に留めなければならないのは、うまくいかない場合、必ず原因があるということです。うたう人も指導する人もその原因が見つけられないのです。

この初回のコーラス編では、シンプルで取り組みやすいカノン（輪唱）の課題を取り上げます。カノンの良さは、各声部が同等の立場でその程度に応じて声部を増やしたり減らしたりしながら練習できることです。これらのささやかな課題の中に、合唱技能の基礎を養成する最も重要なポイントが隠されています。注意深く取り組みれば必ずリズムの躍動、美しい響きの輝きを見つけれられるでしょう。

また、この教材はシリーズ化し、視聴者・利用者皆様のご意見をもとに新たな問題（不足点・困難なこと）を焦点化し、それに対応したバージョンアップした教材を配信していきたいと考えています。さらに教材に沿った公開講座を行ったり、実際にこの教材を実践された利用者への取材をお願いしたり、学生を中心としたスタッフが実際に学校現場等に出向いてのアウトリーチ演奏等も企画していく予定です。

ステップ一覧 ○わらべうた編

- ①おちやらかほい Step 1 【みんなで声を合わせて歌おう】～いっぱい遊んでいっぱい歌おう～
Step 2 【歌で追いかけてっこをしてみよう】～つられずに歌えるかな？～
- ②だるまさん Step 1 【みんなでメロディーを歌おう】～いっぱい遊んでいっぱい歌おう～
Step 2 【メロディーに歌で伴奏をつけてみよう】～とても簡単！繰り返すだけ～
Step 3 【メロディーと伴奏を一緒に歌おう】
～うまくあわせられるかな？ともだちの声をよく聴こう～
Step 4 【伴奏をパワーアップさせよう】～ずらして歌うだけでおもしろい！～
Step 5 【パワーアップした伴奏にメロディーをのせてみよう】
～いろいろな重なり合う声が聴こえるかな？～
- ③あめこんこん ④前の門さん ⑤いちもんめのいっすけさん
Step 1 【みんなでメロディーを歌おう】～何度も歌って覚えちゃおう～
Step 2 【メロディーに歌で伴奏をつけてみよう】～とても簡単！繰り返すだけ～
Step 3 【メロディーと伴奏を一緒に歌おう】
～うまくあわせられるかな？ともだちの声をよく聴こう～
Step 4 【伴奏をパワーアップさせよう】～ずらして歌うだけでおもしろい！～
Step 5 【パワーアップした伴奏にメロディーをのせてみよう】
～いろいろな重なり合う声が聴こえるかな？～
Step 6 【今度はメロディーもパワーアップさせよう】
～つられずに歌えるようになるかな？～
Step 7 【メロディーも伴奏もパワーアップ！】
～4つに重なり合う歌声を聴きながら歌えるかな？～

●コーラス編

①バッハによるカノン

- Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】
Step 2 2声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】
Step 3 3声カノン 【ハーモニーを感じて歌ってみよう】
Step 4 4声カノン 【4つに重なり合う声を聴きながら歌ってみよう】

②かえるのがっしょう

- Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】
～隣同士の音に気をつけよう～
Step 2 2声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】
～音が上がるときも下がるときも正確に歌おう～
Step 3 4声カノン 【ハーモニーを感じて歌ってみよう】
～4つのパートが同じビッチで歌えるようになろう～

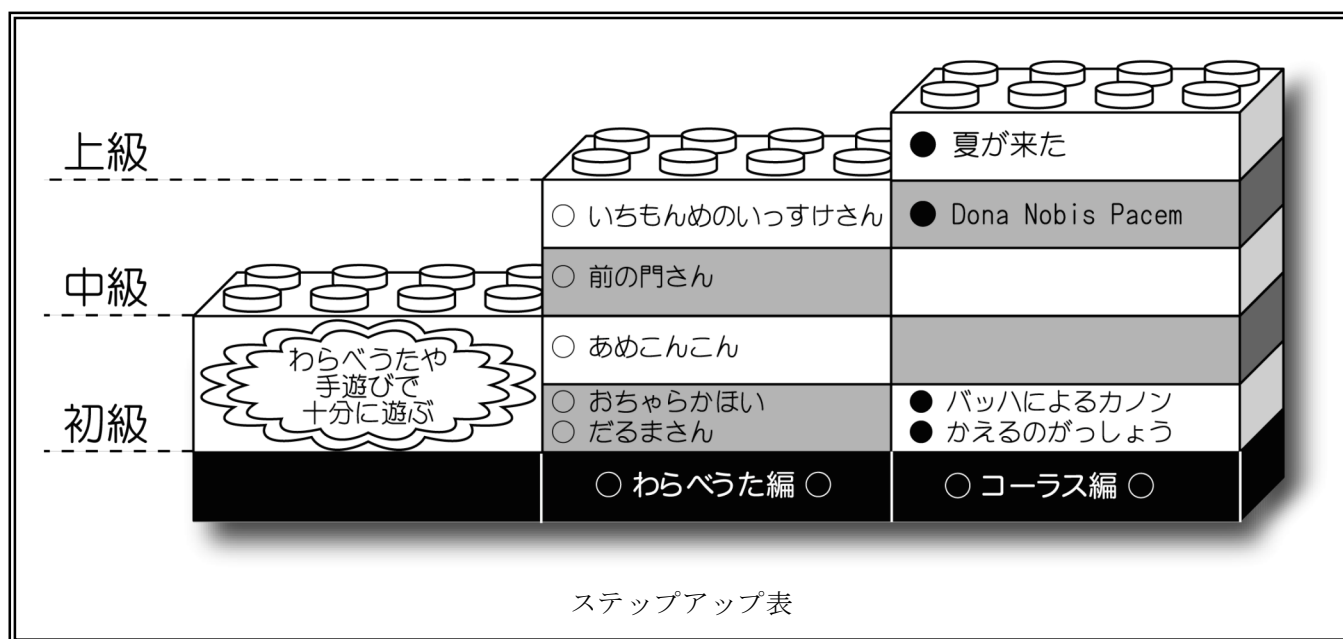
③Dona Nobis Pacem

- Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】
～明るくのびのびと～
Step 2 3声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】
～ずらしただけできれいなハーモニーが聴こえてくるよ～

④夏が来た

- Step 1 メロディーユニゾン
【音の跳躍と音域の広がり注意到意して歌おう】
Step 2 オスティナートユニゾン
【短いフレーズを繰り返し歌ってみよう】
Step 3 オスティナートカノン
【お互いのパート聴きながら歌おう】
Step 4 メロディーユニゾン +オスティナートカノン
【3つのパートのテンポを合わせて歌おう】
Step 5 メロディー2声カノン
【お互いのパートを聴きながら歌おう】
Step 6 メロディー4声カノン
【4つのパートの重なりを感じながら歌おう】
Step 7 メロディー4声カノン +オスティナートカノン
【6つのパートの重なりを感じながら歌おう】

教材の使い方



- ▼ 初級から取り組むことをおすすめします。学年・校種等にこだわることはありません。
- ▼ 先生や児童、生徒のレベルに応じて、曲やSTEPを選択してください。
(例：パートを減らす、オスティナートを付けない)
- ▼ わらべうた編・コーラス編のどちらも並行して行うことで、より効果的にステップアップできます。

カノンを扱うことの意義

《CHECK》 歌うときの大切なポイント

- ① 正確なピッチ（音程）で歌うこと
- ② 正確なリズムで歌うこと
- ③ 聴きあって歌うこと

今回はわらべうた編でもコーラス編でもカノン（音楽用語ページ参照）になっているものを扱いました。旋律の模倣が美しく聴こえるためには、各パートが正確な音の高さ、リズムで歌うことが必要です。またカノンは複数のパートで歌うため、他のパートを意識し、音を聴きあいながら歌うことが求められます。これらはうたを歌う上で必要な要素であり、カノンの課題に取り組むことによって、うたを歌うときに必要な基礎的な力を育てることができます。このような力をつけることで子どもたちはただ声を出して歌うという楽しさだけでなく音楽の美しさを感じながら歌うことができるようになるでしょう。そうすることで、子どもたちはますますうたが楽しくなり、更に意欲的にうたを歌うようになると考えられます。

Manual □ おちやらかほい

Step 1

まずは全員で練習する

【ユニゾン】

- ・最初はゆっくりからはじめる。
- ・歌いはじめの音に気をつける。(よく聴いて同じ音から歌う。)

☞ユニゾン：全員で同じメロディーを歌うこと（斉唱）

Step 2

2つに分かれて歌う

【2声カノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・歌いはじめの音をそろえる。(よく聴いて同じ音から歌う。)

☞カノン：同じメロディーをずらして歌うこと（輪唱）

☆うまくいかないときは、ユニゾンに戻って練習しましょう。

☆手遊びをつけるなど、遊び感覚で楽しく歌うこともできます。

その場合、テンポが速くなりやすいので、ゆっくりリズムをそろえて歌うと良いでしょう。

☆向かいあって歌ったり、歌詞・手遊びは自由に工夫してください。

おちゃらかほい

①

セツ セツ セー の ヨイ ヨイ ヨイ

5

お ちゃら か お ちゃら か お ちゃら か ホイ

9

お ちゃら か か あ ま っ い ま た た こ け た よ で よ お ちゃら か ホイ

Manual □ だるまさん

Step 1

まずは全員で練習する

【メロディーユニゾン】

- ・最初はゆっくりからはじめる。
- ・歌いはじめの音に気をつける。(よく聴いて同じ音から歌う。)

☞ユニゾン：全員で同じメロディーを歌うこと（斉唱）

Step 2

伴奏パートを練習する

【伴奏（オスティナート）ユニゾン】

- ・歌いはじめの音をそろえる。

☞オスティナート：同じメロディーを繰り返すこと

Step 3

Step 1 と Step 2 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏ユニゾン】

- ・伴奏を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 4

伴奏パートを
2つに分ける

【伴奏カノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

☞カノン：同じメロディーをずらして歌うこと（輪唱）

Step 5

Step 1 と Step 4 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してからメロディーが入る。

☆うまくいかないときは、ユニゾンに戻って練習しましょう。

☆手遊びをつけるなど、遊び感覚で楽しく歌うこともできます。

その場合、テンポが速くなりやすいので、ゆっくりリズムをそろえて歌うと良いでしょう。

☆向かいあって歌ったり、歌詞・手遊びは自由に工夫してください。

だるまん

① ②

だるまん だるまん にらめっこ しましょ

① ②

あっ ぶっ ぶ あっ ぶっ ぶ

5

わらうとま けよ あっ ぶっ ぶ

あっ ぶっ ぶ あっ ぶっ ぶ

① ②

だるまん だるまん にらめっこ しましょ

① ②

あっ ぶっ ぶ あっ ぶっ ぶ

5

わらうとま けよ あっ ぶっ ぶ

あっ ぶっ ぶ あっ ぶっ ぶ

Manual □ あめこんこん

Step 1

まずは全員で練習する

【メロディーユニゾン】

- ・子どもが歌いやすい音の高さで歌いはじめる。
- ・「たんとふれ」と「ちっとふれ」を強弱の変化 (*f/p*) をつけて歌うとよい。

☞ユニゾン：全員で同じメロディーを歌うこと（斉唱）

Step 2

伴奏パートを練習する

【伴奏（オスティナート）ユニゾン】

- ・歌いはじめの音をそろえる。

☞オスティナート：同じメロディーを繰り返すこと

Step 3

Step 1 と Step 2 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏ユニゾン】

- ・伴奏を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 4

伴奏パートを
2つに分ける

【伴奏カノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

☞カノン：同じメロディーをずらして歌うこと（輪唱）

Step 5

Step 1 と Step 4 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 6

メロディーパートを
2つに分ける

【メロディーカノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

Step 7

Step 4 と Step 6 を
重ねる

【メロディーカノン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してから【メロディーカノン】が入る。

☆うまくいかないときは、ユニゾンに戻って練習しましょう。

☆手遊びをつけるなど、遊び感覚で楽しく歌うこともできます。

その場合、テンポが速くなりやすいので、ゆっくりリズムをそろえて歌うと良いでしょう。

☆向かいあって歌ったり、歌詞・手遊びは自由に工夫してください。

あめこんこん

東北地方のわらべうた

The musical score is written in 4/4 time. The first system consists of four measures. The upper staff (treble clef) contains the melody with lyrics: 'あ め こん' (measure 1), 'こん' (measure 2), 'ゆ き こん' (measure 3), and 'こん' (measure 4). The lower staff (bass clef) contains a simple accompaniment with lyrics: 'こん' (measure 1), 'こん' (measure 2), 'こん' (measure 3), and 'こん' (measure 4). Circled numbers 1 and 2 are placed above the first and second measures of the upper staff, respectively. A circled number 1 is placed above the first measure of the lower staff, and a circled number 2 is placed above the second measure of the lower staff.

①
あ め こん
②
こん
ゆ き こん
こん

①
こん
②
こん
こん
こん

5
お て ら の ま え さ た ん と ふ れ
ち っ と ふ れ

こん
こん
こん
こん
こん
こん

Manual □ 前の門さん

Step 1

まずは全員で練習する

【メロディーユニゾン】

- ・歌いはじめの音をそろえる。
- ・音の跳躍があり正しく歌うのが難しいので気をつける。
- ・8分音符が続くところは速くなりやすいので、1つ1つをはっきり歌う。

☞ユニゾン：全員で同じメロディーを歌うこと（斉唱）

Step 2

伴奏パートを練習する

【伴奏（オスティナート）ユニゾン】

- ・歌いはじめの音、また音の跳躍に気をつける。

☞オスティナート：同じメロディーを繰り返すこと

Step 3

Step 1 と Step 2 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏ユニゾン】

- ・伴奏を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 4

伴奏パートを
2つに分ける

【伴奏カノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

☞カノン：同じメロディーをずらして歌うこと（輪唱）

Step 5

Step 1 と Step 4 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 6

メロディーパートを
2つに分ける

【メロディーカノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

Step 7

Step 4 と Step 6 を
重ねる

【メロディーカノン】 + 【伴奏カノン】

- ・伴奏カノンを2回くり返してからメロディーカノンが入る。

☆うまくいかないときは、ユニゾンに戻って練習しましょう。

☆「よいさっさ」の部分で動きをつけるなど、手遊びをつけて楽しく歌うこともできます。

前の門さん

近畿地方のわらべうた

- | |
|---|
| <p>1. 前の門さん よいさっさ
 銭五両ひろうて よいさっさ</p> <p>2. それ馬買って よいさっさ
 およし乗せて よいさっさ</p> |
|---|

※映像では2番までをくり返して歌っています。

3. 馬があらびて よいさっさ
 およしが落ちて よいさっさ
4. 竹の切り端 よいさっさ
 手のひらついて よいさっさ
5. 医者をむかおか よいさっさ
 およしもむかおか よいさっさ
6. 医者もむかわず よいさっさ
 およしもむかわず よいさっさ

Manual □ いちもんめのいっすけさん

Step 1

まずは全員で練習する

【メロディーユニゾン】

- ・歌いはじめの音をそろえる。
- ・細かい音の動きや、音の跳躍があり難しいので、最初はゆっくりからはじめ、この段階でよく練習する。

☞ユニゾン：全員で同じメロディーを歌うこと（斉唱）

Step 2

伴奏パートを練習する

【伴奏（オスティナート）ユニゾン】

- ・歌いはじめの音をそろえる。

☞オスティナート：同じメロディーを繰り返すこと

Step 3

Step 1 と Step 2 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏ユニゾン】

- ・伴奏を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 4

伴奏パートを
2つに分ける

【伴奏カノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

☞カノン：同じメロディーをずらして歌うこと（輪唱）

Step 5

Step 1 と Step 4 を
重ねる

【メロディーユニゾン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してからメロディーが入る。

Step 6

メロディーパートを
2つに分ける

【メロディーカノン】

- ・最初のパートが①の部分から歌い、後から入るパートは②の部分から歌いはじめる。
- ・パートの歌いはじめの音をそろえる。

Step 7

Step 4 と Step 6 を
重ねる

【メロディーカノン】 + 【伴奏カノン】

- ・【伴奏カノン】を2回くり返してから【メロディーカノン】が入る。

☆うまくいかないときは、はじめに戻って練習しましょう。

☆テンポを速くしたり、円になって歌うなど、色々な方法で楽しく歌うことができます。

いちもんめのいっすけさん

関東地方のわらべうた

The musical score is written in 4/4 time and consists of three systems. Each system has a vocal line and a piano accompaniment line. The lyrics are written below the notes. Circled numbers 1 and 2 indicate specific measures in the piano part.

① ②

いちもんめの いっすけさん いもやの おばさん
おくらに じょー たん おくらに じょー たん

5

いちまんいっせん いっとおく いっといっど いっどまめ おくらに
おくらに じょー たん おくらに じょー たん おくらに

10

じょーたん どっこいしょの どっこいしょ おかぶせ
じょーたん おくらに じょー たん おくらに じょー たん

音楽用語

- ユニゾン： 同度の音、あるいは同度の旋律を1声部あるいは数声部と一緒に演奏すること。しかし、女声と男声のように実音がオクターヴ離れているような場合にもいう。合唱の練習ではこの同度の練習は基礎的に大切である。より正確な同度の音高を必要とするのはもちろん、各音の音色の統一がなければ、人声の美しい和声は得られない。

- カノン： 厳格な模倣様式による多声楽曲の形式および技法。ある1声部の旋律を他の声部が忠実に模倣し、共に進行していくもの。2声カノン、3声カノンや2重カノン、同度カノン、2度カノン…など、声部の数や音程関係など様々な見地から分類されている。

- オスティナート： ある一定の音型を、楽曲全体を通じて、あるいはまとまった楽節全体を通じて、同一声部で、同一音高で、たえずくり返すことをいう。オスティナートは、しばしばバスにあらわれ、それはとくに〈basso ostinato〉〈ground〉と呼ばれる。しかし他の声部に現れることもある。

[出典]

- ・目黒惇編（1983）『新訂合唱事典』 音楽之友社.
- ・浅香淳編（1991）『新訂標準音楽辞典』 音楽之友社.
- ・柴田南雄、遠山一行総監修（1996）『ニューグローブ世界音楽大事典』 講談社.

参考文献

- ・フォライ・カタリン、セーニ・エルジェーベト共著（1975）『コダーイ・システムとは何か』
羽仁協子、谷本一之、中川弘一郎共訳、全音楽譜出版社.

- ・尾原昭夫選曲（1994）『日本のわらべうた [歌曲集 1,2,3]』 柳原書店.

音楽科授業改善のためのデジタルコンテンツ【誰にもできるステップアップ教材】
わらべうた編&コーラス編 Volume 1

監督 寺尾 正
撮影・編集 佐藤 洋
スタッフ 青山 稚佳子 (AD) 竹下 裕来 (AD) 米谷 優 (技術) 山口 聖代 (作曲)
共同研究者 藤井 修 (作曲家)
協力 大阪教育大学附属平野小学校
大阪教育大学コーラスセッション
アンサンブル・ダッフォディル
音楽教育専攻学部生・大学院生によるコーラス
青山稚佳子 安藤公仁子 太田幸佑 大塚峻音 奥山貴之 神津裕士 木下紗也子 坂井マリ
四宮信徹 竹下裕来 早坂圭介 平野萌子 福田知里 米谷優 宮下暁子 山口聖代

スーパーバイザー 田中 龍三
プロジェクト顧問 木立 英行
プロジェクト代表 寺尾 正

制作 大阪教育大学音楽教育講座